

建設工学科

1. 本校では次のようなことを学びます。

本校の建設工学科は、平成4年度より既存の建築科に土木の専門を融合して、県内で初めて設置されました。その特色は、

(1) 建築専門・土木専門の共通した科目とそれぞれの専門において必要とされる科目を精選して学習し、いずれにも対応出来る技術を習得できます。

(2) コンピューターと先端機器を導入して最新の技術を習得できます。

①建築専門の基本として、建築物の構造・材料・設計及び製図を中心に学習します。

②土木専門の基本として、土木構造物の構造・材料・設計及び測量を中心に学習します。

③以上のような専門的な学習をするほかに、各教科の学習を深めるための工業基礎・実習等を学習します。

④将来の工業人としての育成を目指し、さらに人間形成に最善の努力を払っています。

2. 学習内容（平成15年度より改正）

普通科目								専門科目		総合的な学習の時間
国語	地歴	公民	数学	理科	保健体育	芸術	英語	家庭	情報技術基礎・工業技術基礎・実習・製図 課題研究・測量・建築構造・建築構造設計 建築法規・建築施工・土木施工・土木基礎力学	

※平成11年より「総合学習」が始まり、2年生で週2時間、3年生で課題研究と合わせて週3時間それぞれ取り組んでいます。

「総合学習」のテーマは、2年生では①こそくり大工コース（町内の依頼のあった民家を訪れ、その家屋の修理をおこなうもの）②測量コース③建設技術コース④コンピューターグラフィックコース。3年生では①こそくり大工コース②建設技術コース③コンピューターグラフィックコース（都市計画やキャラクターデザイン）、などのテーマで行っており興味があれば、2・3年時に引き続いて学ぶことができます。

3. 受験可能な資格

情報技術検定・計算技術検定・丙種、乙4類危険物取扱者・ガス溶接技能講習終了資格
ワープロ検定・製図検定・情報処理技術者・ボイラー技師（2級）
重機取扱者（車両系建設機械運転技能講習終了証）・測量士補
2級建築士（卒業後実務経験3年以上必要）
2級土木施工管理技士（試験の一部は卒業後実務経験3年以上必要）

4. 卒業してからは次のような道に進みます。

- (1) 大部分の人が建設会社に就職し、施工管理や設計関係の勉強をしながら、1級建築士、2級建築士または測量士、1、2級土木施工管理技士などを目指します。
- (2) 官公庁（公務員）に就職し、計画・設計関係の仕事に携わります。
- (3) 専門学校や大学への推薦制度もあります。

